

「核共有」より「核兵器禁止を！」など訴えて 第37回網の目平和行進



広島市教組（全教）や県平和行進実行委員会、県原水協などが呼びかける「第37回広島市網の目平和行進」が6月24日（金）夕方行われ、稲荷橋（東）・御幸橋（南）・池田銅像前（北）・福島生協病院前（西）の市内4コースから平和公園を目指して約

200人が歩きました。「核共有より核兵器禁止を」「核脅迫許すな」「核兵器使うな・核兵器なくせ！」などと書いた横断幕・プラカードを掲げ、市民に核兵器廃絶をアピールしました。集結地の平和公園・噴水前では、広島市長のメッセージが読み上げられました。県原水協の高橋信雄代表理事は、締約国会議で、核抑止力論が誤りであることが確認され、ヒロシマ・ナガサキを繰り返さない唯一の方法は核兵器をな



くすことだと明確にした、などと報告し、会議の成果を強調しました。

行進には、今年も南コースに“猫バス”が登場、これまでよりバージョンアップして、中トトロと小トトロを引き連れ、市民の目を引いていました。広島では、この行進を契機に、世界大会成功をめざす準備が進みます。